

「鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂について

(令和2年3月)

本市の総合戦略は、2019（令和元）年度が計画期間の最終年度となります。国においては、2020（令和2）年度から2024（令和6）年度を計画期間とする第2期総合戦略を2019（令和元）年12月に閣議決定するとともに、地方においても国の総合戦略を勘案し、切れ目なく改訂するよう求めています。

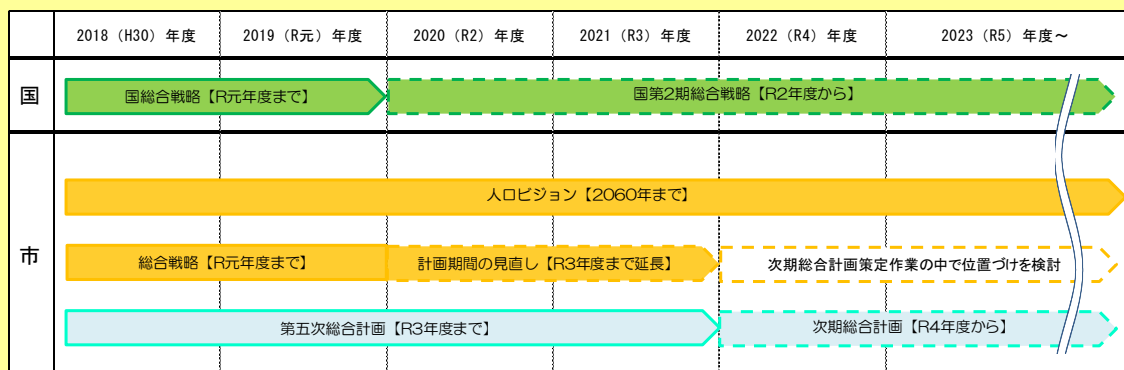
そのことを踏まえ、本市の総合戦略を次のとおり改訂します。

【改訂のポイント】

1. 計画期間

第五次鹿児島市総合計画（平成24～令和3年度）を最上位計画とする本市計画行政の整合を図るため、計画期間を2021（令和3）年度まで2年延長します。

(総合戦略・総合計画の計画期間)



2. 数値目標・KPI

これまでの取組状況等も踏まえ、2021（令和3）年度の新たな目標値の設定などの見直しを行います。

3. 施策・取組

○2020（令和2）年度から2021（令和3）年度までの延長期間における施策・取組を盛り込みます。

- ・積極戦略（3）まちの魅力を「みがく」に、「第75回国民体育大会・第20回全国障害者スポーツ大会の開催」を追加 など

○国の第2期総合戦略における新たな要素を勘案した施策・取組を盛り込みます。

- ・関係人口の創出・拡大に関して、積極戦略（3）まちの魅力を「みがく」に、「“鹿児島ファン”の拡大」とその主な取組を追加
- ・新しい時代の流れであるSDGsやSociety5.0に関して、各施策・取組に可能なものからSDGsの視点を取り入れ、AI（人工知能）など未来技術を活用